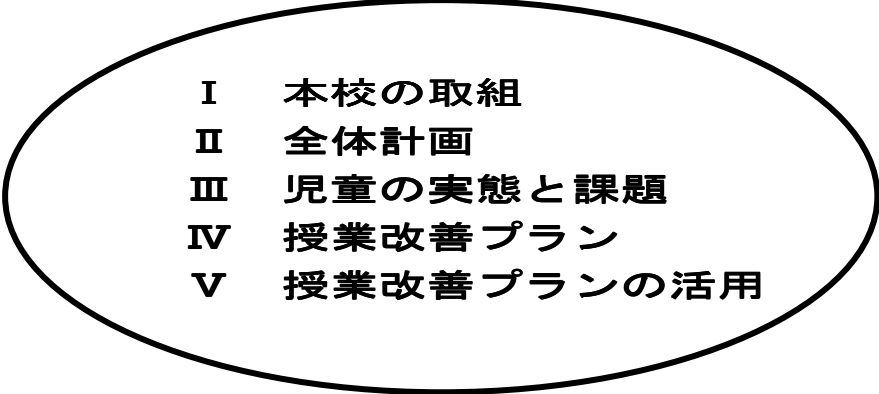


平成23年度 授業改善推進プラン

多摩市立聖ヶ丘小学校

- 
- I 本校の取組
 - II 全体計画
 - III 児童の実態と課題
 - IV 授業改善プラン
 - V 授業改善プランの活用

I 本校の取組

本校では、学習内容の習熟と問題解決能力(特に考える力)を伸ばすために次のような授業改善プランに取り組んでいます。

聖ヶ丘小学校として全体で取り組むこと

- ・学習に遅れがちな児童には、ピアティーチャーと連携し、個別指導をする時間を設ける。
- ・家庭学習(宿題)は全学級で毎日取り組ませる。
- ・漢字の読み書き、計算力をしっかり身につけさせる。
(漢字小テスト、パワーアップタイム)
- ・問題解決型授業を充実させる。
- ・家庭への啓発をする。
- ・補習授業や夏休み学習に取り組ませる。

聖小スタンダード

- ・「算数が好き」と言える児童が八割を超える。
- ・国語の教科書を全員がすらすらと読める。

Ⅱ 全体計画

- ・東京都の教育目標
- ・多摩市の教育目標
- ・関連法規

【学校教育目標の達成】

人権尊重の精神に基づき、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。

○考える子 ○助け合う子 ○元気な子

- ・家庭・地域の願い
- ・教職員の願い
- ・児童の実態と育てたい子ども像

【学校経営方針】（学力向上に関わるもの）

○基礎的・基本的内容の定着 ○学ぶ喜び、学び合う喜びを味わわせる授業の展開

- ・児童一人ひとりに基礎的・基本的内容を確実に定着させる。
- ・自己評価や相互評価を生かし、児童の変容を見取りながら分かる喜びを味わわせる授業を展開する。
- ・体験的な活動を取り入れた学習や問題解決的な学習を重視し、児童自らが学び、自ら考える能力を育成する。
- ・集団における相互作用を重視した授業展開を工夫し、学び合う喜びを味わわせるとともに、児童相互が高め合う集団学習を展開する。

【各教科の指導の重点】

- 自ら学び、自ら考える力の育成を図る。
- ・問題解決的な学習の重視
- ・各授業の目標の具体化(児童の姿として)
- ・繰り返し指導の充実
- ・板書やノート指導等の指導の手立ての工夫
- ・自己評価や相互評価の活用
- ・地域の教育資源や情報機器の有効活用

本校における確かな学力

本校では、学習指導要領で示された基礎・基本を重視し、「生きる力」の育成を図るために、次の諸能力（学力）を育成する教育活動を展開する。

- ①「読み・書き・計算」に代表される基本的な知識や技能の確実な定着を目指す。
- ②望ましい学習習慣の形成を図り、学び続ける意欲と態度を育てる。
- ③新たな問題に出会ったときに、自力で解決できるような学び方を身につけさせ、問題解決能力を育成する。
- ④生涯にわたって、問題解決に必要とされる「考える力」「表現する力」を育成する。

評価の観点を「おおむね満足できる段階」までを努力目標として、すべての児童に達成させることを目指す。

【道徳教育の指導の重点】

- 人権尊重の精神を基盤とし、思いやりの心を育み道徳的判断力や実践力を高める。
- ・日常の道徳授業の充実
- ・道徳授業地区公開講座等を活用した家庭や地域社会との連携
- ・豊かな体験を通じた道徳性を育成
- ・基本的な生活習慣の確立

【総合的な学習の時間の指導の重点】

- 児童自らが課題を見つけ、よりよく問題を解決する能力や豊かな人間性・社会性を育成する。
- ・人や自然とのかかわりを重視した活動
- ・体験的な活動の重視
- ・「見つける」「かかわる」「あらわす」の学習過程の重視
- ・日常的に役立てるようになるための個に応じた支援

【特別活動の指導の重点】

- 自主・自立・責任・連携など社会性の基礎を培うとともに望ましい、高め合う集団活動のあり方を身につけさせる。
- ・高学年児童がよきリーダーシップを発揮できるようにするための支援の強化
- ・めあてをもって自発的・自治的活動を楽しみ成就感を味わわせるための指導助言や評価活動の重視
- ・児童相互や児童と教師の交流活動の重視

【生活指導の指導の重点】

- 規範意識の向上を図り、望ましい集団行動を身につけさせる。
- ・言語環境を整えることを基盤とした全校一斉指導や徹底した指導・支援
- ・家庭や地域社会、及び専門機関と連携し、個々の問題に対応できるような指導体制の確立ときめ細やかな生活指導の推進

【進路指導の指導の重点】

- 自己理解と自己実現の意欲を促し、将来に向かって活力のある生き方ができるような能力を育成する。
- ・様々な人とのかかわりや交流活動の重視
- ・自分の生き方を振り返り、自分自身のよさや大切さに気付かせていく場の設定

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・方法の工夫	教育課程編成上の工夫	校内研究や研修の充実	評価活動の工夫	家庭や地域との連携の工夫
<ul style="list-style-type: none"> ・ ティームティーチングや少人数指導及び習熟度別学習を生かし、指導の工夫・改善に努める。 ・ 児童一人一人が主体的に学ぶ教材開発に努める。 ・ 問題解決学習の充実を図り工夫・改善に努める。 ・ 個に応じた指導（補充学習発展学習）の内容や方法の工夫・改善に努める。 ・ コンピュータ等を活用した授業を積極的に取り入れていく。 ・ 授業展開を見通した板書計画を工夫するとともに、ノート指導の充実を図る。 ・ 体験・操作活動を重視した活動を取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間指導計画及び評価計画が一体になった意図的計画的な教育活動をより一層推進する。 ・ 補充的な学習や発展的な学習が可能となるようゆとりがある授業時数の確保に努める。 ・ 算数科の基礎・基本の確実な定着を目指し、第3学年以上でパワーアップタイムを実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 研究主題「見つける、かわる、あらわす、聖の子」—児童の成長が見える授業の構築—のもと新学習指導要領をふまえて学力向上を意識した総合の学習過程の見直しと作成に取り組む。 ・ 問題解決学習の充実を図り児童一人一人の既習事項を使って考える力、ノートに自分の考えを筋道立てて表現する力、考えを発表しあい、よさを認めたり高めたりできる力を伸ばしていく。 ・ 新たな教材開発や指導過程の工夫改善に取り組む。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 評価計画の充実を図ることにより、指導と評価が一体となった学習指導を推進する。 ・ 学習指導のPlan-Do-Check-Actionのサイクルに基づき、児童一人ひとりに対する指導・支援の充実を図る。 ・ 教科・評定はあくまでも適切な指導を展開するための手段として位置づけ、それ自体が目的にならないようにする。 ・ 評価基準の作成をし学習の達成状況について具体性、客観性を高めるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学年だより、保護者会等を活用して、保護者との連携を図り学習習慣の確立及び家庭学習の充実を図る。 ・ 地域社会で活躍している保護者や地域の方々の教育力を学校教育の場に活用していくようにする。

Ⅲ 児童の実態と課題

東京都 児童生徒の学力向上を図るための調査・各教科別の考察と分析

平成23年度 (第5学年 平成23年7月実施)

【国語】 内容及び観点別の分析							
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	取り出す力	読み取る力	解決する力
到達度	満足できる	概ね満足できる	課題あり	課題あり	概ね満足できる	課題あり	課題あり
課題点		ただし、話している内容の順序を考えながら要点を聞きとることが不十分である。	文章の組み立てを捉えることが不十分である。	・主語・述語、修飾・被修飾の関係の理解が不十分である。 ・漢字の「書き取り」が不十分である。	ただし、情報を正確に取り出すことが不十分である。	比較・関連付けて読み取ることが不十分である。	筆者の意図を理解し、その表現の工夫を捉えることが不十分である。
<ul style="list-style-type: none"> ・聞き取りについては、正答率が高かった。テストでは、「聞こう」という意識が強いことがうかがえる。 ・文法と漢字の書きや言語の使い方などに大きな課題が残る。 ・説明的文章の要旨を捉える力に課題がみられる。 ・テストでは読み取れない部分の課題も明確にして、指導の改善の必要がある。 							
<p>【改善策】(補充・発展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の読み書きについては、ドリルー小テストー補充のサイクルをより一層充実させ、常に形成的評価を実施し、定着を図る。日記や作文の中で既習漢字を使えるよう、その都度指導する。 ・辞書の活用など日常から積極的に学習に取り入れ、言葉の意味を確実に捉えて文章が読み取れるようにしていく。単なる漢字の練習や意味調べに終わるのではなく、学んだことを活用する熟語や短文作りにも積極的に取り組みませ、語彙力を高めていく。 ・メモをとって話を聞いたり、感想や自分の考えを整理して書いたりという書く活動を増やしていく。 ・国語の時間だけでなく、すべての教科・領域で言語活動「話す」「書く」活動及び音読を重視する。 ・文法については、指導単元以外でも、様々な場面で繰り返し取り上げていく。 ・「国語練習学習」(文法の問題や短文作りを通して言語についての理解を深める)の取組を検討し実践していく。 							

【社会】 内容及び観点別の分析							
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	取り出す力	読み取る力	解決する力
到達度	満足できる	概ね満足できる	概ね満足できる	課題あり	課題あり	課題あり	課題あり
課題点	テストでは測れない社会的事象への興味関心を高めている。	ただし、違いや変化を捉えたり人々の工夫を考えたりする力が不十分である。	ただし、地図の活用、読み取りが十分にできていない。	県の名称と位置の理解が不十分である。	地図や表、グラフから必要な情報を正確に取り出す力が不十分である。	それぞれの情報を比較・関連付けて読み取る力が不十分である。	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力が不十分である。
	<ul style="list-style-type: none"> ・複数の基礎的資料を比較・関連付けて読み取ったり、資料から読み取った事実を基に考えたりする力が弱い。 ・東京から離れていくほど都道府県名や位置の理解が不十分である。 ・関心・意欲が不十分で、文章が長かったり、読み取る資料が多かったりする場合は無答が多い。 						
<p>【改善策】(補充・発展)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料を基にした問題解決型の授業を行い、資料を読み取るポイントを段階的に指導することで、資料活用の力を身につけさせていく。 ・社会的事象に関する基礎的な知識の確実な習得を図るために、重要な事柄に着目させ覚えるよう指導する。 ・言語活動を充実させ、読解力を高める。資料活用の活動から読み取るスキルを高める。 ・自ら問題を見つけ、資料を活用して問題を解決したり、自ら考察したり、新たな問題を追及したりする自己探求力の育成を図る。 <p>(教材提示の仕方、課題作りの工夫、学習カードの使用、学習感想)</p>							

【算数】 内容及び観点別の分析							
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	取り出す力	読み取る力	解決する力
到達度	概ね満足できる	課題あり	概ね満足できる	概ね満足できる	課題あり	課題あり	課題あり
課題点	ただし、折れ線グラフで表そうとする態度が不十分である。算数のよさを感じしよりよい考えを追及していくことができるようにする。	四則計算に成り立つ性質を使って計算の仕方を考える力が不十分である。	ただし、小数＋小数の計算と概数にして積を見積もることが不十分である。	ただし、垂直、平行の関係の理解が不十分である。四捨五入、グラフの変化の読み方、量の単位についての理解が不十分である。	長方形や正方形の、縦の長さや横の長さを正確に取り出すことが不十分である。(必要な情報)	長方形や正方形の縦の長さや横の長さの関係を表に表したり、表から読み取ることが不十分である。	意図や背景、理由を理解・解釈・推論して解決する力が不十分である。
	<p>・習得状況に個人差が大きく、十分満足できる状況にある児童がいる一方で、努力を要する状況にある児童も多い。</p> <p>・計算をはじめとする様々な技能や四則演算や図形の意味などを確実に身につけさせ、その上で既習内容を活用した問題解決能力の育成が重要である。</p>						
<p>【改善策】(補充・発展)</p> <p>・計算力、演算決定力をはじめとする基礎的な知識・技能の習得を図るため、繰り返しのドリル学習の充実を図る。 ⇒宿題(家庭学習)との連携</p> <p>・パワーアップタイムを実施し、個々の習熟に応じた計算力の向上を図る。</p> <p>・問題解決学習を実践し、児童一人ひとりが既習内容を活用して自力で問題が解決できるようにする。</p> <p>・少人数指導、TT指導の充実を図り、一人ひとりに応じた学習が展開できるようにする。また、学習内容に応じて、習熟度別学習を取り入れ、児童の実態に応じて、つまづいている児童には、学習内容の定着を目指した課題を、進んでいる児童には、発展的な課題を追及する場を設定する。</p>							

【理科】 内容及び観点別の分析							
観点	関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解	取り出す力	読み取る力	解決する力
到達度	満足できる	課題あり	概ね満足できる	概ね満足できる	概ね満足できる	課題あり	概ね満足できる
課題点	テストでは測れない自然事象への興味・関心を高めていく。	実験結果から結論を導き出す力が不十分である。	ただし、正確に測定する力が不十分である。	ただし、磁石の性質についての理解が不十分である。	ただし、情報を正確に取り出す力が不十分である。	実験の結果を比較・関連付けて読み取る力が不十分である。	ただし、推論する力がやや弱い。
	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な知識内容の定着の不十分さがみられる。 ・実験結果等を比較・関連付けて結論を導き出し、その結論を適応して問題解決する力が十分ではない。 ・情報を適切に活用して、問題解決する力の定着を図る必要がある。 						
【改善策】(補充・発展) <ul style="list-style-type: none"> ・実験・観察などの体験的な活動をより重視し、自然事象に関する興味・関心を高めていく。 ・補助プリント等を活用して自然現象に関する基礎的な知識の確実な定着を図る。 ・既習内容を活用して予想を立てたり、実験計画を立てたりしながら、児童が主体的に課題解決に取り組めるよう授業の工夫・改善を行う。 							

平成22年度東京都

今の6年生が5年生の時の調査結果

	必要な情報を取り出す力				比較・関連付けて読み取る力				意図や背景、理由を理解・解決・推論して解決する力			
	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科	国語	社会	算数	理科
正答率	満足	概ね満足	概ね満足	満足	概ね満足	概ね満足	課題	概ね満足	満足	満足	課題	概ね満足

	必要な情報を取り出す力				比較・関連付けて読み取る力				意図や背景、理由を理解・解決・推論して解決する力			
本校平均	概ね満足できる				課題あり				満足できる			
都平均	3.2				3.0				2.2			

	国語	社会	算数	理科
本校平均	満足できる	満足できる	課題あり	ほぼ満足
都平均	2.2	2.2	2.1	2.0

○ 調査内容と結果

調査内容	全国平均正答率	東京都平均正答率	本校の達成度
国語A(主に知識)	83.3%	84.5%	ほぼ満足
国語B(主に活用)	77.8%	79.5%	ほぼ満足
算数A(主に知識)	74.2%	76.5%	ほぼ満足
算数B(主に活用)	49.3%	52.7%	ほぼ満足

課題

- ・学習内容の習熟が不十分な児童もいる。
- ・問題解決型学習のさらなる充実に努めていく。

本校では、学習内容の習熟と問題解決能力(特に考える力)を伸ばすために次のような授業改善プランに取り組んでいます。

聖ヶ丘小学校として全体で取り組むこと

- ・学習に遅れがちな児童には、ピアティーチャーと協力し、個別指導をする時間を設ける。
- ・家庭学習(宿題)は全学級で毎日取り組ませる。
- ・漢字の読み書き、計算力はしっかり身につけさせる。(漢字小テスト、パワーアップタイム)
- ・問題解決型授業の充実
- ・家庭への啓発
- ・補習授業や夏休み学習に取り組ませる。

聖小スタンダード

- ・「算数が好き」と言える児童が八割を超える。
- ・国語の教科書を全員がすらすらと読める。

IV 授業改善プラン

第1学年、第2学年は国語、算数。第3学年から第6学年までは国語、社会、算数、理科の現状の課題と改善策

第1学年

国語

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
一年	<p>(話す聞く)・相手を見て終わりまで話を聞けるようにする。</p> <p>・みんなに聞こえる声で、語尾までははっきり話せるようにする。</p> <p>(読む)・拾い読みのため、内容を理解するのが難しい児童もいる。</p> <p>(言語)・ひらがなやカタカナ、漢字を正しく書けるようにする。</p> <p>・鉛筆の持ち方、筆順に気をつけて文字を書けるようにする。</p> <p>(書くこと)</p> <p>・単語は書けるが、文章を書くことには苦手意識がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 毎時間、相手を見て口を閉じて聞く習慣をつけさせる。 ・ 正しい口のあけ方と発音に気を配って読んだり話したりさせる。声のものさしを掲示し意識させる。 ・ 毎日、家庭学習で音読をさせる。 ・ 図書、保護者による読み聞かせの時間を確保し、本に親しませる。 ・ 読み聞かせや学級文庫を通して、読書活動の充実を図る。 ・ 視写を積み重ねる。漢字テストを継続する。 ・ 書写の時間だけではなく、毎時間丁寧に書くことを意識させる。 ・ 授業や週一回以上の日記で書く習慣をつけていく。 	

算数

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
一年	<p>(考え方)・絵や文を読み取り、立式できるようにする。</p> <p>(表現処理)・足し算、引き算では、ブロックや指を使わなくてもできるようにする。</p> <p>・演算イメージを持ち計算ができるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章題では、絵や図を描かせ、「わかっていること」「きいていること」を明らかにする。発問を工夫し、考え方や理由を発表できるようにする。具体物を用意し操作活動を重視する。 ・ 具体物等を使った算数的活動を通して演算のイメージを養う。 ・ 計算カードや学習プリントを繰り返し行い、習熟させ、計算力を高める。 	

第2学年

国語

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
二年	<p>(話す聞く)・集中して話を聞けるようにする。順序立てて話せるようにする。大きな声が出せるようにする。</p> <p>(読む)・説明文の内容や発問の意味を正しく理解できるようにする。</p> <p>(言語)・鉛筆を正しく持てるようにする。漢字やカタカナを正しく丁寧に書けるようにする。文章の中で適切に使えるようにする。</p> <p>(書くこと)</p> <ul style="list-style-type: none"> 主語、述語の関係、文法的内容を意識した文を書けるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> 正しい口のあけ方と発音で読む練習をさせる。声のものさしを活用し、声の大きさを意識させる。2学期に1人当たり最低2回のスピーチを行わせる。話す前に事柄を順序立てるように指導と確認の声かけをする。「目を見て」「相づちをうって」を聞くときに徹底させる。 大切にしたい言葉や文に線を引かせる。ノートに、読み取ったことや自分の考えをまとめさせる。 丁寧になぞり書きをすることを重視する。漢字テストを継続して行う。書写の時間を確保し文字の習熟をめざす。 漢字指導については、その都度繰り返し行う。 書写を重視する。 日記指導や書く練習(ドリル)に取り組んでいく。 	

算数

二年	<p>(考え方)・足し算と引き算が混じっても、正しく立式できるようにする。自分の考えたことをノートに書き表せるようにする。</p> <p>(表現処理)・くり上がり、くり下がりの筆算技能を確実に身につける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 言葉だけではなく、絵や図を使うことを価値づける。文章題は、式に用いる数に『一線』何算になるか分かる文に『～線』をつけさせる。考え方ノートを充実させる。 ノート作りの工夫をする。 くり上がり、くり下がりの跡を残すように指導する。継続して計算に取り組むようにパワーアップタイム2年バージョンに取り組む。 	
----	--	---	--

第3学年

国語

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
三年	<p>(書く)</p> <p>文章を書く際、表記を正しく書くこと。</p> <p>(読む)</p> <p>叙述に即して正確に読み取ること。 問題文を正しく読み取ること。</p> <p>(言語)</p> <p>漢字を正確に書き、使うこと。 語彙が乏しいこと。 自分の思いをきちんと表現すること。</p>	<p>書いた文章を読み返す活動、推敲を学習活動に明確に位置付けて計画を立てる。</p> <p>読み取りに際し、重要な部分を見つけ線を引かせる。毎日、音読練習の家庭学習に取り組みさせる。</p> <p>計画的に漢字練習をさせる。週に一回漢字テストをする。辞書をこまめに使わせる。</p> <p>単元の中に音読、読み取り、話し合い、発表、漢字の学習をバランスよく取り入れる。</p> <p>司書教諭と協力して読書指導を続け物語などの優れた文章に触れる機会を増やす。</p> <p>書く視点を与える。年間計画の中に書く活動を多く取り入れ、多様な形態の文章を書く活動を行う。</p>	

社会

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
三年	<p>社会活動を体験し、自己の問題として引きつけて考えること。</p>	<p>課題設定を身近なものとして設定するため、自己の生活を振り返り、課題づくり、課題解決のプロセスを児童主体で行えるよう授業改善をする。</p>	

算数

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
三年	<p>(考え方)</p> <p>児童自ら課題解決の見通しを持てるようになること 文章問題に対しての苦手意識。</p> <p>(表現処理)</p> <p>四則計算の基礎、基本を確実に身につける。</p> <p>(知識理解)</p> <p>数量感覚、図形認識力を育てる。</p>	<p>使った考え方を意識させるために、今までの考え方を掲示し整理する。 既習事項を板書し、考え方ノートに記録させる。</p> <p>大事な言葉や数にしるしをつけさせる。式の意味を言葉で表現させる。</p> <p>パワーアップタイムを活用し意欲的に計算練習に取り組みさせる。</p> <p>体験的な活動を授業にできるだけ多く取り入れていく。</p> <p>1時間の授業に、既習事項の復習を取り入れ、学習内容の定着を図る。</p> <p>児童の発達段階に応じて、具体物などを提示し視角など情報を多面的に与え感覚を高める。</p>	

理科

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
三年	<p>科学的事象への興味関心、課題意識をもつこと。</p>	<p>児童の体験からくる疑問を重視し、児童自ら試行錯誤する時間を確保した学習活動を計画する。</p>	

第4学年

国語

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
四年	<p>(書く)文章を書くことの基本的ルールを定着させ、作文の構成を考えてから書けるようにする。</p> <p>(話す)相手に伝わる話し方ができないことがある。</p> <p>(読む)文章や問題文を正しく読み取ったり、話を聞き取ったりする力を伸ばす。</p> <p>(言語)既習の漢字の活用及び言語領域の知識の定着。</p>	<p>(書く) 1時間の中に必ず、書く活動を行ったり週末には日記の宿題を出したりして文章を書くことに慣れさせる。事実と感想を区別して書かせるようにする。</p> <p>(話す)一言スピーチを行い、事実に対して思ったことの根拠が言えるようにさせる。</p> <p>(読む)文章の構成や段落ごとの要点をおさえながら読み取らせる。</p> <p>(言語)既習の学習事項を可視化することで、今まで何を学びこれから何をもちて課題に望めばよいかを明確にする。既習の漢字や表現を使うように条件を入れて文章を書かせたり、辞典使う機会を増やす。</p>	

社会

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
四年	<p>(取り出す力)地図や表、グラフから必要な情報を正確に取り出す力が不十分である。</p> <p>(知識・理解)都道府県の名称と位置の理解が不十分である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料を基にした問題解決型の授業を行い、資料を読み取るポイントを段階的に指導することで、資料活用を身につけさせていく。 ビンゴやゲーム等を通して、都道府県の名称や位置を覚えられるようにする。 	

算数

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
四年	<p>(考え方)・既習事項を活用し、自分の考えをもって課題解決ができるようにする。</p> <p>・数直線など、抽象的な表現でも考えられるようにする。</p> <p>(表現処理)・四則計算を習熟する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 授業中のまとめの時間に、板書を丁寧に視写させたり、工夫させたりすることで、その後の学習で自力解決する際にも前のノートを活用できるようにする。 抽象的な概念に置き換えて学習する際には、実際の数値や対象が何なのかを一対一に対応させて学習を進める。また、簡単な数値に置き換えて考えさせるなど少しでも自力解決させるようにする。 パワーアップタイムのプリントを活用し、自主学習の時間を設け、定着を図る。 	

理科

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
四年	<p>(思考・判断・表現)物の変化や現象に対しての見方や考え方が不十分である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 課題を明確にして、実験・観察を行う。また、自分なりに予測をたて、主体的に課題解決に取り組めるよう、授業の工夫・改善に努める。 実験や観察したことを自分の言葉でまとめさせた上で、発表等の意見交換を行いながら全体としてまとめていくことで、ものの見方や考え方を養う。 	

第5学年

国語

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
五年	<p>(話す聞く)・自分の意見をもったり考えを发表或しする力を伸ばしていく。</p> <p>(書く)・書きたいことを整理し、段落を分けて書けるようにする。</p> <p>(読む)・読み取る力を伸ばす。</p> <p>(言語)・既習の漢字を覚えて書いたり使ったりできるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新聞記事の内容をまとめ、自分なりの感想や意見を書いたり、スピーチしたりする課題に続けて取り組ませる。聞き手を意識した話し方を指導していく。 ・ 週に1回、短文作りの時間をとり、様々な表現や分かりやすい表現を指導していく。 ・ ポイントを絞って読み取り、図に表して理解しやすいよう工夫する。 ・ 週2回の漢字テストを行う。そのための練習に繰り返し取り組ませる。 	

社会

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
五年	<p>(取り出す力)・地図や表、グラフから必要な情報を読み取る力をつける。</p> <p>(解決する力)・意図や背景、理由を理解して解決する力をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 資料を基にした問題解決型の授業を行い、資料を読み取るポイントを指導する。 ・ 社会的事象の原因を考え、話し合う授業を行う。 	

算数

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
五年	<p>(考え方)・筋道を立てて考えられるようにする。・課題をイメージできるようにする。</p> <p>(表現処理)・正確に作図できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 問題解決型の授業に取り組む。既習事項を活用できるように、ヒントとしてちりばめ、筋道立てて考える機会を設ける。・課題を図で表したり、ヒントを与えたりするなどして、自力解決できる手立てをとる。 ・ 日常的に定規で線を引く習慣をつけさせる。練習させる。 	

理科

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
五年	<p>(思考・判断・表現)・実験結果から結論を導き出す力をのばす。</p> <p>(読み取る力)・実験の結果を比較する力をつける。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 実験計画を立てる中で、なぜこの実験を行うのかをしっかりと話し合い、結論を導き出せるようにする。 ・ 実験の結果に関しても、なぜこの様な実験結果になったのか、しっかりと話し合い、興味を引き出す。 	

第6学年

国語

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
六年	<p>(読む)・文章を読み、内容を深く理解できるようにする。読んだ後の自分の感想や意見をしっかりもてるようにする。</p> <p>(言語)・言語事項に関する内容を確実に定着するようにする。</p> <p>(話す聞く)・自分の意見をもったり考えを發表したりする力を伸ばしていく。</p> <p>(書く)・書きたいことを整理し、段落を分けて書けるようにする。</p> <p>(読む)・読み取る力を伸ばす。</p> <p>(言語)・既習の漢字を覚えて書いたり使ったりできるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 各単元、五回は音読を行う。物語教材や説明文教材では、文章の前後関係に気をつけて内容理解するように助言する。 各単元で言葉の意味調べを取り入れる。繰り返し漢字テストを行い、そのための練習をしっかりとさせる。 国語の時間だけでなく取り組んでいく。 書く視点を与えたり、パターンを教えたりして練習する学習を取り入れていく。 正しく読み取る力を伸ばしていく。 	

社会

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
六年	<p>(思考・判断・表現)・違いや変化をとらえたり人々の工夫について考えたりする力を高めるようにする。</p> <p>(技能) 資料を読み取る力を高めるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 資料を読み取るポイントを示したり、複数の資料を比較したりすることで、思考力や資料活用力を身につけさせていく。 	

算数

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
六年	<p>(考え方)・筋道立てて考えられるようにする。・課題に対して、いくつかの考えがもてるようにする。</p> <p>(表現処理)・四則計算を確実にする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 問題解決学習を中心として授業を進め、単元で2回は筋道立てて考える機会を設ける。 計算に関する家庭学習を出して計算練習に取り組めるようにする。パワーアップタイムを利用し計算練習に意欲的に取り組ませる。 苦手意識のある児童への細やかな励ましをしていく。 	

理科

	学習指導の現状の課題	改善策	成果と課題
六年	<p>(思考・判断・表現) 実験結果から結論を導き出す力を高めるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 児童が主体的に課題解決に取り組めるように発問を工夫して、課題解決の道筋が具体的にもてるようにするとともに、考察を学級全体で確認して、考え方のポイントを伝えるようにする。 	

図工科 授業改善プラン

	中学年	高学年
○課題	<ul style="list-style-type: none"> ・豊かな発想で、楽しんで表現することはできるが、これまでに学習した技能を使い、なかなか工夫して表現することができない。 ・自分や友達、芸術家の作品について興味を持つことはできるが、それを言葉に表わして伝えることは難しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・進んで取り組み、豊かな発想や構想をもとに楽しんで表現することはできるが、これまで学習した技能を使い、より工夫して表現することができない。 ・自分や友達、芸術家の作品について興味を持つことはできるが、それを言葉に表わして伝えることは難しい。
○改善策	<ul style="list-style-type: none"> ・既習の技術を分かりやすく提示し、反復して習得させる。 (にじみ、かすれ、金網とブラシ、カッター、彫刻刀、粘土工作) ・児童一人一人への声かけをし、細かく指導する。 ・完成した自分の作品に対しての振り返りカードを書くことで、作品について改めて考える時間をとっていく。 ・作品について思ったことや気付いたことを、言葉にして表現する活動を積極的に取り入れていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・興味関心をもてるように、さまざまな題材を取り上げ、工夫させる。 (すみ、やきもの、版画、ビー玉ゲーム作り、液体粘土、木工工作) ・児童一人一人への声かけをし、細かく指導する。 ・完成した自分の作品に対しての振り返りカードを書くことで、作品について改めて考える時間をとっていく。 ・作品について思ったことや気付いたこと、考えたことを、言葉にして表現する活動を積極的に取り入れていく。
○評価とさらなる改善へ向け		

音楽科 授業改善プラン

	中学年	高学年
○課題	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、楽しく歌うことができ、歌声にも元気があがるが、頭声発声になると音量が小さくなってしまったり、音程が不安定になったりする。 ・器楽では、リコーダーの運指はできている児童が多いが、音色にまで注意がいかない。 ・楽典面では、読譜の能力に差がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、頭声発声ができるが、強弱記号や歌詞の意味を理解して歌うというところまでには至っていない。 ・一人で歌うことに恥ずかしさがあり、発表したがらない。 ・器楽では、リコーダーの運指はよくできている児童が多いが、音色に気を付けたり、豊かに表現したりすることができない。 ・楽典面では、読譜の能力に差があり、記号等や約束などは知識としての差がある。知識として理解できても実際の演奏に応用できない。

<p>○改善策 (できるだけに)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、毎時間、発声をして歌う時間を増やし、互いに聴き合う活動の時間を設定する。また、模範となる声を聴かせることにより、頭声のイメージをつかませる。 ・器楽のリコーダー奏では、模範演奏を聴くなどして、美しい音色に気づかせるような機会をつくったり、簡単な二重奏などを行うことによって、互いの音色を聴き合いながらの活動を取り入れたりする。 ・楽典面では、読譜力が身につくように、器楽曲を行う際には必ず自分自身で階名を書かせる。また、記号や約束等は、掲示物にしたりプリントなどを使って反復練習をしたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歌唱では、毎時間、発声をして歌う時間を増やし、互いに聴き合う活動の時間を設定する。 ・全体の発表活動からグループ、個人への発表へと発展させる。 ・器楽のリコーダー奏では、模範演奏を聴くなどして、美しい音色に気づき、豊かな表現方法を身につけられるように、反復練習する機会をつくる。また、二重奏などを行うことによって、互いの音色を聴き合いながらの活動を取り入れる。 ・楽典面では、読譜力が身につくように、器楽曲を行う際には必ず自分自身で階名を書かせる。また、記号や約束事は、反復練習をして覚えさせ、演奏などにも応用できるようにする。
<p>○評価とさらなる改善に向けて</p>		

V 授業改善プランの活用

①家庭学習(宿題)は全学級で毎日取り組ませる。

- ・音読カード【音読し家の人に聞いてもらい、サインしてもらおう】
- ・漢字ドリル計算ドリルを使い、ノートに練習する。【主に低学年】
- ・「ホームワーク」(手作り)のプリントを使い、ノートに貼りためていく。【主に高学年】
- ・家庭学習の取り組みせ方など、学年便りや保護者会などで説明していく。
- ・良くできている子のノート(宿題)や取り組み方を紹介し、他の児童へも広めていく。

②漢字の読み書き、計算力をしっかり身につけさせる。

- ・漢字小テスト【週一回ぐらいのペース】
- ・パワーアップタイム【木曜日の朝、3年以上、計算プリントを検定形式で行う】
- ・算数授業のはじめ3分ぐらいに基本的な計算練習を取り入れる。【適時】

③学習に遅れがちな児童には、ピアティーチャーと連携し、個別指導をする時間を設ける。

- ・対象児童にあった指導計画により、週1時間取り組む。

④補習授業や夏休み学習に取り組ませる。

- ・夏休みの5日間、希望者を対象に、学習する場を設定する。
- ・学習に遅れがちな児童に、夏休みや始業前、放課後に学習する機会を用意する。【適時】

⑤問題解決型授業を充実させる。

つかみ⇒自力解決⇒検討⇒まとめ

導入問題の工夫

既習事項を確認し板書

べらはかせ

「じゃあ、〇〇は？」

「チョコメモ」

便利、楽、早い、簡単、正確な方法は？

「だって、〇〇だから」

◎学習指導案(略案)

今後、加筆していきます。